

外国人留学生特例科目
履修要項

2019

平成31年度

近畿大学

目次

I. 外国人留学生特例科目の履修方法	-----	1
II. 外国人留学生特例科目		
1. 平成26～31年度入学生		
(1) 外国人留学生特例科目表	-----	6
(2) 外国人留学生特例科目 時間割	-----	7
(3) 外国人留学生特例科目の科目名とその概要	-----	8～9
2. 平成24～25年度入学生		
(1) 外国人留学生特例科目表	-----	10
(2) 外国人留学生特例科目 対応表	-----	11
(3) 外国人留学生特例科目 時間割	-----	12
(4) 外国人留学生特例科目の科目名とその概要	-----	13～14
III. 外国人留学生の共通教養科目・ 外国語科目の履修に関する特例について	-----	15～16

近畿大学の教養教育の目的と目標

前文

近畿大学の建学の精神は、「実学教育」・「人格の陶冶」にあり、教育理念である「人に愛される人、信頼される人、尊敬される人」を育成することを教育の目的としている。この建学の精神に基づき、社会の発展に貢献できる有為な人材を育成するために、教育の中核に教養教育と専門教育を据え、それを通して総合的な教育を行うところに、本学の教育の特色がある。

さらに、近畿大学は、「世の中にないものを創り、生み出す」ことを社会的使命と任じ、新たな地平の開拓へ果敢に挑戦する人材を育成する。このような観点に立脚し、近畿大学の教養教育の目的を次のように謳うものである。

目的

「近畿大学の教養教育は、幅広い知識と深い洞察力を培い、豊かな人間関係と確かな主体性を確立することを目的とする」

この目的の達成のために以下の目標をおく

1. 個人の自由と平等を尊重し、社会において担うべき責任を理解し、公正に判断する能力を養う。
2. 日本文化と外国文化の理解を通じ、国際感覚を高め、相互の個性を尊重し、信頼し合う精神を養う。
3. 課程設定と問題解決の能力を高め、課題に積極的に挑戦する意欲を養う。
4. 健康な精神と肉体を培うとともに、趣味の涵養を通して豊かな人間性を養う。
5. 国際社会に対応できる英語をはじめとする外国語によるコミュニケーション能力を養う。
6. 総合的な視野から専門分野を理解し、その研究に必要な基礎知識を養う。

科目群は、上記目標に対応させて以下のとおりとする。

- ① 人間性・社会性科目群(個人の尊重・社会的責任の認識)
- ② 地域性・国際性科目群(国際的感覚の育成)
- ③ 課題設定・問題解決科目群(課題設定・解決能力の育成)
- ④ スポーツ・表現活動科目群(スポーツ・表現活動を通じた人間性の育成)
- ⑤ 外国語科目群(外国語によるコミュニケーション能力の育成)
- ⑥ 専門基礎科目群

I.外国人留学生特例科目の履修方法

外国人留学生の「共通教養科目・基礎科目・外国語科目」の履修は、基本的には一般学生と同じです。たとえば、卒業要件となる「修得すべき単位数」は、一般学生の「修得すべき単位数」と全く同じです。

また、外国人留学生は、一般学生と同じクラスの授業を受講することを原則とします。

しかし、外国人留学生の学習効果を高めるために、外国人留学生だけを対象とした科目（「外国人留学生特例科目」とよびます）として、別表に示した外国人留学生特例科目を開講しています。

【平成26～31年度入学生】

平成26～31年度入学の留学生は、全員入学時に日本語プレイスメントテストの受験が義務付けられています。テストは、入学時 1 回のみ、留学生オリエンテーション時に実施されます。ただし、農学部と生物理工学部所属の学生は、希望者のみ受験とします。

卒業に必要な共通教養科目の単位数は、「日本概論 1」、「日本概論 2」、「日本概論 3」、「日本概論 4」を含む共通教養科目全体の中から修得します。なお、法学部、薬学部、総合社会学部に所属する外国人留学生は、地域性・国際性科目群の単位として認めます。国際学部
に所属する外国人留学生は「日本概論 1」、「日本概論 2」は「人間性・社会性科目群」に、「日本概論 3」、「日本概論 4」は「地域性・国際性科目群」の単位として認めます。

卒業に必要な外国語科目の単位数は、「日本語関連科目」、「初修英語関連科目」を含む外国語科目全体の中から修得します。日本語科目に関しては、指定レベルのクラスのみ、受講が許可されますので、履修登録の際には充分注意してください。

学部		入学年度	外国語科目必要単位
法 学 部		平成26～31年度	18単位以上
経 済 学 部		平成26～31年度	20単位以上
経 営 学 部		平成26～31年度	18単位以上
理 工 学 部		平成26～31年度	14単位以上
建 築 学 部		平成26～31年度	14単位以上
薬学部	医療薬学科	平成26～31年度	12単位以上
	創薬科学科	平成26～31年度	14単位以上
文 芸 学 部		平成26～31年度	14単位以上
		※ 学科・専攻により外国語科目の卒業に必要な単位数は異なります。履修要項を必ず確認してください。	
総合社会学部		平成26～31年度	18単位以上
国 際 学 部		平成28～31年度	共通教養科目を含めた 30 単位以上
農 学 部		平成26～31年度	14単位以上
生物理工学部		平成26～31年度	14単位以上

***履修に関する注意事項(日本語科目について)**

入学時の日本語プレイスメントテストの結果、レベル4と指定された場合、その年度はレベル4の日本語科目しか履修できません。レベル5と指定された場合は、指定レベルより下位のレベル4のクラスを履修することはできません。

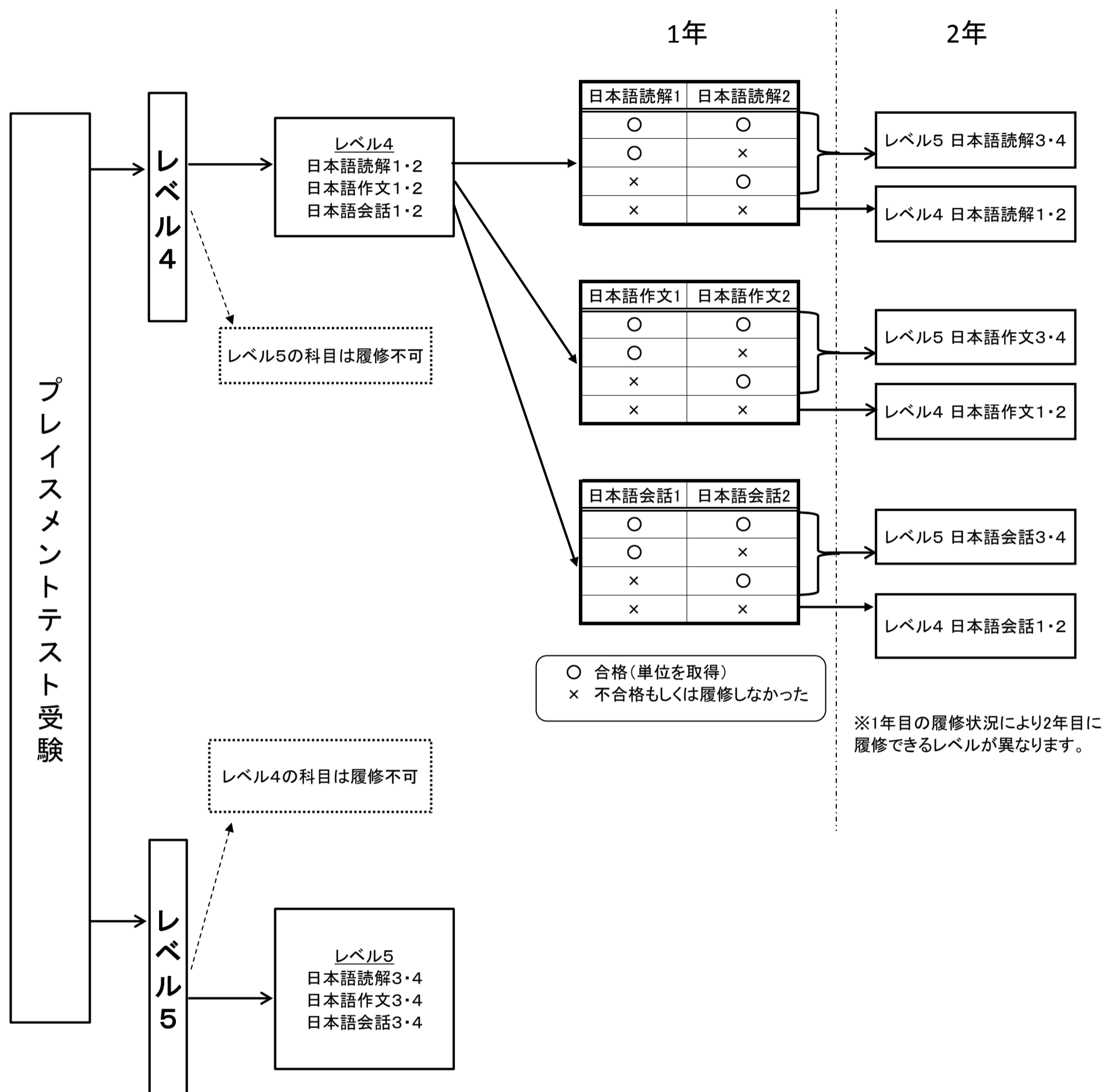
「日本語アカデミックリーディング1・2」、「日本語リサーチメソッド1・2」、「日本語プレゼンテーション1・2」は、大学での学習に必要なアカデミックスキル演習のクラスですので、レベル5以上での履修が望ましいです。

入学時にレベル4と指定された場合、次年度にレベル5のクラスを履修するためには、当該年度中にレベル4のクラスの単位取得が条件となります。例えば、「日本語読解3」を履修するためには、前年度に「日本語読解1」または「日本語読解2」のどちらかを単位修得している必要があります。また、学年が上がっても、自動的に上位レベルの日本語クラスは履修できません。指定レベルのクラスから履修してください。さらに、「読解」「作文」「会話」はそれぞれ上位クラスと連携していますから、例えば、レベル4の「日本語読解1」または「日本語読解2」を単位修得しても、自動的にレベル4を全て修了したとはみなされません。「作文」「会話」科目を履修する際には、レベル4の科目から履修してください。次ページの履修チャートをよく確認してください。

平成26～31年度入学生用

プレイスメントテストにもとづく

日本語読解1・2・3・4、日本語作文1・2・3・4、日本語会話1・2・3・4の履修順序について



【平成24～25年度入学生】

卒業に必要な共通教養科目の単位数は、「日本概論 1」、「日本概論 2」を含む共通教養科目全体の中から修得します。なお、総合社会学部に所属する外国人留学生は、地域性・国際性科目群の単位として認めます。

卒業に必要な外国語科目の単位数は、「日本語関連科目」、「初修英語関連科目」を含む外国語科目全体の中から修得します。

学部		入学年度	外国語科目必要単位
法 学 部		平成24年度～25年度	18単位以上
経 済 学 部		平成24年度	22単位以上
		平成25年度	20単位以上
経 営 学 部		平成24年度～25年度	18単位以上
理 工 学 部		平成24年度～25年度	14単位以上
建 築 学 部		平成24年度～25年度	14単位以上
薬学部	医療薬学科	平成24年度～25年度	12単位以上
	創薬科学科	平成24年度～25年度	14単位以上
文芸学部		平成24年度～25年度	14単位以上
		※ 学科・専攻により外国語科目の卒業に必要な単位数は異なります。履修要項を必ず確認してください。	
総合社会学部		平成24年度～25年度	18単位以上
農 学 部		平成24年度～25年度	14単位以上
生物理工学部		平成24年度～25年度	14単位以上

外国語履修についての注意事項

(1)「外国語科目」の履修制限について

外国語の履修に関しては、母国において公用語・母国語およびそれに準ずる日常語として使用されている言語を履修することは認められません。

(2)「日本語科目」の履修について

英語が必修となっている学部所属する外国人留学生は、「日本語関連科目」の修得単位をもって「英語」の単位に代えることができます。

* 文芸学部文学科英語英米文学専攻に所属する外国人留学生は、「日本語関連科目」の単位認定はできません。

* 国際学部所属する外国人留学生は、「日本語関連科目」の修得単位をもって「英語」の単位に読み替えることはできません。

(3)「初修英語科目」の履修について

「初修英語基礎1・2」と「初修英語コミュニケーション1・2」は、英語をほとんど学んだことのない学生を対象とした科目です。

* 文芸学部文学科英語英米文学専攻に所属する外国人留学生は、「初修英語関連科目」の単位認定はできません。

* 国際学部所属する外国人留学生は、原則、単位認定はできません。

以上、これらの科目の受講を希望する場合は、必ず1回目の授業に出席して、「受講許可」を得てください。これらの科目は、教育効果などの観点から定員を設けていますので、定員を超過した場合は受講を制限することがあります。

また、反対に受講者数が極端に少ない場合、不開講で受講クラス変更することがあります。

Ⅱ. 外国人留学生特例科目

1. 平成26～31年度入学生

(1) 外国人留学生特例科目表〔平成26～31年度入学生適用〕

科目群	科目群詳細	授業科目	単位数	必修・選択の別		プレイスメント テストに基づく 対象レベル	履修学年、期別、セメスターと 1週あたりの授業時間数		備考	履修 状況				
				必修	選択		1～4学年							
							前期	後期						
共通 教養 科目	共通 教養	日本概論1	2		○	全レベル	2							
		日本概論2	2		○			2						
		日本概論3	2		○		2							
		日本概論4	2		○			2						
外国 語 科 目	日本 語	日本語読解1	1		○	レベル4	2							
		日本語読解2	1		○			2						
		日本語作文1	1		○		2							
		日本語作文2	1		○			2						
		日本語会話1	1		○		2							
		日本語会話2	1		○			2						
		日本語読解3	1		○	レベル5	2							
		日本語読解4	1		○			2						
		日本語作文3	1		○		2							
		日本語作文4	1		○			2						
		日本語会話3	1		○		2							
		日本語会話4	1		○			2						
	日本語アカデミックリーディング1	1		○	レベル4～5	2								
	日本語アカデミックリーディング2	1		○			2							
	日本語リサーチメソッド1	1		○		2								
	日本語リサーチメソッド2	1		○			2							
	日本語プレゼンテーション1	1		○		2								
	日本語プレゼンテーション2	1		○			2							
	能力試験対策1	1		○	全レベル	2								
	能力試験対策2	1		○			2							
英 語	英 語	授業科目	単位数	必修・選択の別		/	1学年		2学年		備考	履修 状況		
							前期	後期	前期	後期				
							必修	選択						
		初修英語基礎1	1		○		2							
		初修英語基礎2	1		○			2						
初修英語コミュニケーション1	1		○			2								
初修英語コミュニケーション2	1		○				2							

・表中の授業時間数欄に記載されている2は1週に1時限(90分)を表す。

(2)平成31年度「外国人留学生特例科目」時間割
〔平成26～31年度 入学生適用〕

曜日	時限	科目名	レベル	担当者	受講学部等	教室(H31年度)	
月	2	日本語リサーチメソッド	1 (前期)	4~5	笠松 瑞子	経営学部	(前期) 3-304
			2 (後期)				(後期) 3-403
		日本語読解	3 (前期)	5	森久 国雄	経営学部	ACT-116
			4 (後期)				
	3	日本語リサーチメソッド	1 (前期)	4~5	笠松 瑞子	経営学部を除く 全学部	1-302
			2 (後期)				
火	1	日本語読解	1 (前期)	4	藤井 和子	経営学部を除く 全学部	1-301
			2 (後期)				
	2	日本語アカデミックリーディング	1 (前期)	4~5	森久 国雄	経営学部	3-303
			2 (後期)				
		日本語アカデミックリーディング	1 (前期)	4~5	木津 可奈子	経営学部を除く 全学部	(前期) 18-402
			2 (後期)				(後期) 3-302
	3	日本語読解	1 (前期)	4	森久 国雄	経営学部	(前期) 3-304
			2 (後期)				(後期) 3-303
	水	2	日本語読解	3 (前期)	5	藤井 和子	経営学部を除く 全学部
4 (後期)				(後期) 18-204			
3		日本語作文	3 (前期)	5	川渕 節子	経営学部を除く 全学部	21-PC教室2 (21号館6階MIPS)
			4 (後期)				
5		日本概論	3 (前期)	/	平林 一成	全学部	1-302
			4 (後期)				
初修英語基礎	1 (前期)	/	北岡 一弘	全学部	21-320		
	2 (後期)						
木	2	日本語プレゼンテーション	1 (前期)	4~5	小原 貴子	経営学部	1-302
			2 (後期)				
		日本語プレゼンテーション	1 (前期)	4~5	野村 由香里	経営学部を除く 全学部	1-303
			2 (後期)				
	3	日本語作文	1 (前期)	4	高橋 朋子	経営学部	(前期) 18-204
			2 (後期)				(後期) 3-302
		日本語作文	1 (前期)	4	清水 優子	経営学部を除く 全学部	3-303
			2 (後期)				
	5	日本概論	1 (前期)	/	戸井田 克己	全学部	(前期) 3-303
			2 (後期)		岡田 昌彰		(後期) 38-N321
初修英語コミュニケーション	1 (前期)	/	有本 好一郎	全学部	21-317		
	2 (後期)						
金	1	日本語会話	1 (前期)	4	小原 貴子	経営学部	1-302
			2 (後期)				
		日本語会話	1 (前期)	4	野村 由香里	経営学部を除く 全学部	1-301
			2 (後期)				
	2	日本語会話	3 (前期)	5	野村 由香里	全学部	1-301
			4 (後期)				
		能力試験対策	1 (前期)	全	笠松 瑞子	経営学部	(前期) 3-401
			2 (後期)				(後期) 未定
	3	日本語作文	3 (前期)	5	小原 貴子	経営学部	1-303
			4 (後期)				
		能力試験対策	1 (前期)	全	河崎 絵美	経営学部を除く 全学部	1-302
2 (後期)							

農学部開講科目

曜日	時限	科目名	レベル	担当者	受講学部等	教室(H31年度)
集中講義		日本概論	3 (前期)	木村 正則	農学部	農学部
			4 (後期)			
月	4	日本語作文	3 (前期)	木村 正則	農学部	農学部
		4 (後期)				

(3)外国人留学生特例科目の科目名とその概要

(平成26～31年度入学生適用)

《共通教養・全レベル》

「日本概論 1・2」

日本の社会・政治・経済・地理について学びます。

「日本概論 3・4」

日本の文化について学びます。

《日本語・レベル 4》

「日本語読解 1・2」

大学のテキストや論文を独力で読むための読解力の養成を図ります。新聞や雑誌を中心に日本の文章に慣れていくことを目指します。

「日本語作文 1・2」

論理的な文章を書くための文体や文法、書式、よく使われる表現などを学びます。いくつかのテーマを選び、課題作文を仕上げます。

「日本語会話 1・2」

大学生活を送るのに必要な会話について、さまざまな場面を設定し、それにふさわしい表現を学びます。

《日本語・レベル 5》

「日本語読解 3・4」

テキストや論文を、その大意を把握、理解しながら適当なスピードで読むことを目指します。新聞や雑誌にとどまらず、小説などにも取り組みます。

「日本語作文 3・4」

あるトピックについて自分の主張、見解、考察などを客観的な根拠に基づいて、論理的に述べる練習をします。

「日本語会話 3・4」

大学生活で必要とされる交渉や議論をより効果的に行うための能力の向上を図ります。またスピーチにも取り組みます。

《日本語・レベル 4～5》

「日本語アカデミックリーディング 1・2」

小説や時事問題を読むだけでなく、それについて自分の意見を述べたり、反論したりする力を養成します。また専門書や翻訳本にも取り組み、幅広いジャンルの読み物に触れます。

「日本語リサーチメソッド 1・2」

自ら設定した問題について、データ収集を行い、文献を調べて考察を述べるといったプロセスを学びます。また発表原稿やレジュメの書き方も学習します。

「日本語プレゼンテーション 1・2」

ゼミや研究会での発表などのアカデミックプレゼンテーションに必要な能力の向上を図ります。PPT の効果的な使い方や表現も学びます。

《日本語・全レベル》

「能力試験対策 1・2」

能力試験 1 級やビジネス日本語テストのための対策クラスです。語彙や文法、読解力などの例題を通じ、効果的に実力を伸ばし、合格を目指します。

《英語》

<1年次>

「初修英語基礎 1・2」

英語を基礎から学ぶ学生を対象に、主として英語の語彙・文法・読解力の定着と養成を目標とします。基礎文法の確認に加えて初歩的なリスニングや発音練習も行います。

<2年次>

「初修英語コミュニケーション 1・2」

初修英語基礎の内容の上に、英語力の総合的な基礎力をより確実なものにすることを目標とします。必要に応じて TOEIC テスト対策なども織り込みます。

Ⅱ. 外国人留学生特例科目 2. 平成24～25年度入学生

(1) 外国人留学生特例科目表〔平成24～25年度入学生適用〕

	授 業 科 目	単 位 数	必修・選択 の別		履修学年、期別、セメスターと1週あたりの授業時間数								備 考	履 修 状 況	
			必修	選択	1学年		2学年		3学年		4学年				
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
					1	2	3	4	5	6	7	8			
共通教養科目 基礎科目	日本概論 1	2		○	2										
	日本概論 2	2		○		2									
外 国 語 科 目	日本語総合 1	1		○	2										
	日本語総合 2	1		○		2									
	日本語読解 1	1		○	2										
	日本語読解 2	1		○		2									
	日本語作文 1	1		○	2										
	日本語作文 2	1		○		2									
	日本語会話 1	1		○	2										
	日本語会話 2	1		○		2									
	日本語読解 3	1		○			2								
	日本語読解 4	1		○				2							
	日本語作文 3	1		○			2								
	日本語作文 4	1		○				2							
	日本語読解 5	1		○					2						
	日本語読解 6	1		○						2					
	日本語作文 5	1		○						2					
	日本語作文 6	1		○							2				
	初修英語基礎 1	1		○	2										
	初修英語基礎 2	1		○		2									
初修英語コミュニケーション 1	1		○			2									
初修英語コミュニケーション 2	1		○				2								

- ・表中の授業時間数欄に記載されている2は1週に1時限(90分)を表す。
- ・日本語総合1・2は、本年度不開講

(2)平成31年度「外国人留学生特例科目」時間割
〔平成24～25年度 入学生適用〕

曜日	時限	科目名	学年	担当者	受講学部等	教室(H31年度)
月	2	日本語作文	5 (前期)	笠松 瑞子	経営学部	(前期) 3-304
			6 (後期)			(後期) 3-403
	日本語読解	3 (前期)	森久 国雄	経営学部	ACT-116	
		4 (後期)				
3	日本語作文	5 (前期)	笠松 瑞子	経営学部を除く 全学部	1-302	
		6 (後期)				
火	1	日本語読解	1 (前期)	藤井 和子	経営学部を除く 全学部	1-301
			2 (後期)			
	2	日本語読解	5 (前期)	森久 国雄	経営学部	3-303
			6 (後期)			
	日本語読解	5 (前期)	木津 可奈子	経営学部を除く 全学部	(前期) 18-402	
		6 (後期)			(後期) 3-302	
	3	日本語読解	1 (前期)	森久 国雄	経営学部	(前期) 3-304
			2 (後期)			(後期) 3-303
水	2	日本語読解	3 (前期)	藤井 和子	経営学部を除く 全学部	(前期) 3-304
			4 (後期)			(後期) 18-204
	3	日本語作文	3 (前期)	川渕 節子	経営学部を除く 全学部	21-PC教室2 (21号館6階MIPS)
			4 (後期)			
	5	初修英語基礎	1 (前期)	北岡 一弘	全学部	21-320
		2 (後期)				
木	3	日本語作文	1 (前期)	高橋 朋子	経営学部	(前期) 18-204
			2 (後期)			(後期) 3-302
	日本語作文	1 (前期)	清水 優子	経営学部を除く 全学部	3-303	
		2 (後期)				
	5	日本概論	1 (前期)	戸井田 克己 岡田 昌彰	全学部	(前期) 3-303
			2 (後期)			(後期) 38-N321
	初修英語コミュニケーション	1 (前期)	有本 好一郎	全学部	21-317	
2 (後期)						
金	1	日本語会話	1 (前期)	小原 貴子	経営学部	1-302
			2 (後期)			
	日本語会話	1 (前期)	野村 由香里	経営学部を除く 全学部	1-301	
		2 (後期)				
	3	日本語作文	3 (前期)	小原 貴子	経営学部	1-303
			4 (後期)			

農学部開講科目

曜日	時限	科目名	学年	担当者	受講学部等	教室(H31年度)
月	4	日本語作文	3 (前期)	木村 正則	農学部	農学部
			4 (後期)			

※「日本語総合1・2」は、本年度不開講

(4)外国人留学生特例科目の科目名とその概要

(平成24～25年度入学生適用)

《1年次》

「日本概論 1・2」

日本の社会・政治・経済・地理について学びます。

「日本語総合 1・2」(本年度不開講)

4技能(読む・書く・聞く・話す)を総合的に育成するような授業形態をとります。特に、大学入学までに習得した文法や語彙を整理・復習し、それらが大学生活において、自由に使えるように練習をします。

「日本語読解 1・2」

大学のテキストや論文が独力で読めるようになるための読解力の養成を図ります。論文を中心に、新聞・雑誌等の文章を教材とし、まずこれらの読解に慣れることを目指します。

「日本語作文 1・2」

論理的な文章の構成や文型・表現を学びます。まず、「序論・本論・結論」を押さえた文章が書けるように練習をし、次に、レポートの形式を学んで簡単なレポートが作成できることを目指します。

「日本語会話 1・2」

大学生活を送るのに必要な会話について、さまざまな場面を設定し適切な表現について学びます。また、日常生活全般について交渉・議論・プレゼンテーション等をより効果的に行うための能力の向上を図ります。

「初修英語基礎 1・2」

英語を基礎から学ぶ学生を対象に、主として英語の語彙・文法・読解力の定着と養成を目標とします。基礎文法の確認に加えて初歩的なリスニングや発音練習も行います。

《2年次》

「日本語読解 3・4」

- ①「日本語読解 1・2」に続いて大学のテキストや論文を、かなりの速さで要点を把握しながら読めるようになるための読解力の養成を図ります。
- ②新聞記事や短編小説などを読んで、日本語の文章を気軽に読む習慣を身につけます。

「日本語作文 3・4」

- ①「日本語作文 1・2」に続いて、さらに本格的なレポートが書けるような練習をします。
- ②日本で生活していくときに必要となる手紙文や案内文等の書き方について学びます。

「初修英語コミュニケーション 1・2」

初修英語基礎の内容の上に、英語力の総合的な基礎力をより確実なものにすることを目標とします。必要に応じてTOEICテスト対策なども織り込みます。

《3 年次》

「日本語読解 5・6」

「日本語読解 3・4」に続いて、前期と後期に、現在の日本で広く読まれている書物の中から 1 冊ずつ選び、精読して、読了します。1 冊の本を完全に読み通す能力を身につけます。

「日本語作文 5・6」

「日本語作文」の総仕上げとして、より自然で、文法的にも正しく、内容のある文章が書けるように練習します。

Ⅲ. 外国人留学生の共通教養科目・外国語科目の履修に関する特例について

外国人留学生の共通教養科目・外国語科目の履修に関する特例について

平成6年2月18日

注 平成17年4月から改正沿革を付記した。

改正 平成17年4月1日

近畿大学外国人留学生規程第9条の規定に基づき、外国人留学生の共通教養科目・外国語科目に関する特例を下記のとおり定める。

記

- 1 近畿大学学則（以下「学則」という。）第10条及び第11条に規定する学科目（共通教養科目・外国語科目）のほかに次の授業科目を開設する。

《共通教養科目》

- 日本概論1（前後期 2単位 1～4学年）
- 日本概論2（前後期 2単位 1～4学年）
- 日本概論3（前後期 2単位 1～4学年）
- 日本概論4（前後期 2単位 1～4学年）

《外国語科目》

- 日本語読解1（前後期 1単位 1～4学年）
- 日本語読解2（前後期 1単位 1～4学年）
- 日本語作文1（前後期 1単位 1～4学年）
- 日本語作文2（前後期 1単位 1～4学年）
- 日本語会話1（前後期 1単位 1～4学年）
- 日本語会話2（前後期 1単位 1～4学年）
- 日本語読解3（前後期 1単位 1～4学年）
- 日本語読解4（前後期 1単位 1～4学年）
- 日本語作文3（前後期 1単位 1～4学年）
- 日本語作文4（前後期 1単位 1～4学年）
- 初修英語基礎1（前期 1単位 1学年）
- 初修英語基礎2（後期 1単位 1学年）
- 初修英語コミュニケーション1（前期 1単位 2学年）
- 初修英語コミュニケーション2（後期 1単位 2学年）
- 日本語アカデミックリーディング1（前後期 1単位 1～4学年）
- 日本語アカデミックリーディング2（前後期 1単位 1～4学年）
- 日本語リサーチメソッド1（前後期 1単位 1～4学年）
- 日本語リサーチメソッド2（前後期 1単位 1～4学年）
- 日本語会話3（前後期 1単位 1～4学年）
- 日本語会話4（前後期 1単位 1～4学年）

日本語プレゼンテーション1（前後期 1単位 1～4学年）

日本語プレゼンテーション2（前後期 1単位 1～4学年）

能力試験対策1（前後期 1単位 1～4学年）

能力試験対策2（前後期 1単位 1～4学年）

2 共通教養科目

卒業に必要な共通教養科目の単位数を『日本概論1』、『日本概論2』、『日本概論3』、『日本概論4』を含む共通教養科全体の中から修得する。

(1) 学則第11条の規定に定める共通教養科目の履修条件については、外国人留学生もこの条件を満たさなければならない。

3 外国語科目

卒業に必要な外国語科目の単位数を『日本語関連科目』、『初修英語関連科目』を含む外国語科目全体の中から修得する。

(1) 学則第11条の規定に定める外国語科目の履修条件については、外国人留学生もこの条件を満たさなければならない。

(2) 『英語』が必修となっている学部には所属する外国人留学生は、『日本語関連科目』の履修した修得単位をもって『英語』の単位に代えることができる。

(3) 外国語科目の履修に関しては、母国において、それを公用語、母国語及びそれに準ずる日常語として使用している言語の履修は、認めない。

(4) 『初修英語関連科目』の履修は、英語をほとんど学んだことのない外国人留学生に限り履修を認める。

(5) 英語を母国語とする外国人留学生は、『初修英語関連科目』は履修できない。各学部開講の『第二外国語科目』又は『日本語アカデミックリーディング1・2、日本語リサーチメソッド1・2、日本語プレゼンテーション1・2』を履修すること。

4 事務

この規程に関する事務は、インターナショナルセンターが所管する。

附 則

この規程は、平成6年2月18日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成29年4月1日から施行する。



平成 31 年度 外国人留学生特例科目 履修要項

平成 31 年 4 月 1 日 発行

発行者 近畿大学 インターナショナルセンター
編集 近畿大学 インターナショナルセンター
所在地 〒577 - 8502 東大阪市小若江 3 - 4 - 1
電話番号 (06)4307-3081